

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670101973
法人名	医療法人 明輝会
事業所名	グループホーム よしの村
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町3822番地1 (電話) 099-244-4412
自己評価作成日	平成26年9月12日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年10月2日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1棟目の開所から15年を迎え、地域との関係も地道に築いてきました。避難訓練への協力をいただく一方、町内会行事に協力をしたり入居者が参加をしたりする中で、事業所やサービスに理解をいただいていることを実感します。入居者の活動では、屋外へのアクセスのし易さ、ゆったりとした敷地を活かして、屋外で過ごす機会を可能な限り持ちながら季節を五感で感じていただくことを支援しています。園芸療法活動はその一つとして年間を通した計画のもと進めています。音楽療法についても、職員が前職から引き継いで意欲的に取り組んでいます。法人のネットワークのなかで、医療・看護・リハビリ・栄養の専門職に相談しやすい環境があり、入居者の健康面をサポートできる体制はご家族にとっての安心感にもつながっていると考えています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、高台の静かな住宅地域に立地し、周辺には医療機関や大型店舗・レストラン・バス停などがあり、利便性が高い。3ユニットのグループホームで、災害時の相互協力関係が構築されている。
- ・自治会に加入し地域行事に積極的に参加し、事業所の行事にも多くの地域住民が参加するなど日常的に交流している。
- ・協力医療機関の定期的往診や緊急時の対応など、医療連携体制が整っている。本人や家族の希望で、看取り介護を家族と医療関係と連携し取り組んでいる。
- ・利用者個々人の習慣や楽しみを把握し、園芸療法や音楽療法等を活用し、力量に応じて、その人らしい生活ができるように支援に取り組んでいる。
- ・管理者は職員が働きやすい環境づくりに配慮し、職員はケア対応等の更なる向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎年、理念の振り返りを見直しを行い、皆が共有できるものを作っている。日々、唱和し、実践につなげるよう意識付けている。	理念を朝礼時に唱和し、職員会議等で確認し、理念に沿った年間目標を掲げ、振り返り実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し六月灯に参加したり避難訓練に加わっていただいている。秋祭りには近隣の住民が訪れたり、保育園との交流も定期的に持っている。	町内会に加入し、地域行事に積極的に参加している。秋祭りや防災避難訓練等の事業所の行事にも多くの地域住民の参加がある。保育園との交流や中学生の職場体験学習・ボランティアの受け入れなど、交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議、避難訓練、交流行事を通して、地域の方が認知症の人と交わりながら認知症を理解し、支援の方法を紹介する機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>事業所から活動報告・事故報告を行い、アドバイスを頂いている。議事録を回覧して職員は会議内容を共有し、サービス向上に活かすように努めている。</p>	<p>会議は定期的開催し、事業所の状況や外部評価の報告・ヒヤリハットや事故報告・入退所報告・行事報告・研修報告などを行い、提案で歯科医師による口腔ケアの講演を実施したり、避難訓練に年1回は参加してもらい助言等を活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>地域包括支援センターとは運営推進会議や地域のGH連絡協議会を介して情報交換等を行っている。市の各担当課とは待機者報告、事故報告、生活保護における連携等で関係を築いている。</p>	<p>市担当者とは日頃から情報を交換しアドバイスを貰っている。福祉担当者とは細かに連絡合っている。地域包括支援センターとは運営推進会議を通して協力関係ができている。市主催の研修会にも積極的に参加し、グループホーム協議会などにも参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束予防委員会を中心として年一回勉強会と確認テストを実施している。止むを得ず行う場合は解除に向けた取り組みに努める必要の理解を進めている。</p>	<p>指針やマニュアルをもとに委員会が中心となり定期的に勉強会や事例検討会を開催し、身体拘束ゼロを実践している。玄関の昼間の施錠をせずに、職員の見守りで利用者の自由な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会で学ぶ機会を設け防止に努めている。利用者に皮下出血等が見られる際は、記録してチームで原因究明し対策を講じることで、誤解を受けないケアへの注意を促している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度の利用者もあり関心を持つ機会もあるが、職員における知識や理解の必要性はまだ認識が深められていない。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明を身元引受人およびご本人に向けて行い、同意を頂いている。改定の際も文書や口頭で説明し理解を得られている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会、運営推進会議の場でご要望等を伺い、またアンケートにて家族の考えを拾い上げるよう努めている。意見箱の設置もある。ご意見等は検討・改善につないでいる。	利用者からは日常会話や表情・しぐさから、思いをくみ取りケアに反映させるよう心がけている。家族からは面会や家族会等で常に問いかけ、何でも言ってもらえるような雰囲気作りに留意している。アンケートや意見箱で意見や要望を聞く機会を設けている。出された要望で、職員の名札を付けることになった。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月の全体職員会、棟内勉強会などにおいて誰もが意見・提案を表明する機会がある。管理者と棟リーダーのミーティングでは棟ごとの意見が示され、検討がされ易い。	管理者は月1回開催される全体職員会や棟会議・ミーティング等で職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設けている。日常的に職員からの意見や提案が出しやすい環境を心がけ、相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。管理者やリーダーは年1回個人面談も行い、反映を図るよう心がけている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	労働時間、勤務状況等個々の実績を管理者が把握し、必要に応じて代表者等へ相談・報告を行っている。それに対して給与水準や報奨が査定されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的な面談を通して本人とケアの力量を確認し、目標管理を行っている。同時に研修の意向も聞き取り、可能な限り外部研修に参加を促している。法人内でも技術研修等が開催され、トレーニングの機会がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域のGH連絡協議会にかかわることで相互交流や情報交換の機会があり、サービスの質向上に結び付いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人に合わせたコミュニケーションに努め、不安を軽減したり要望を取り入れて、ホームでの生活に慣れていただく。その中で関係づくりも進んでいる。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族とコミュニケーションをこまめに取り、不安に答えたり要望を聞き出したりしてホームとの信頼関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前に得られた情報をもとにご本人、ご家族と対話しながら、その時必要とする支援を探り、提供可能なサービスを提示するとともに、協力していただける部分は依頼する。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>してあげる、にならないよう心がけ、できることに関しては自分で出来るよう、待つ姿勢や環境設定をする重要性の理解を促し、努力する中で関係構築できてきている。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は家族とゆっくり過ごせるように配慮している。外出、外泊、病院の付添いなどはたらきかけ、家族の支えが必要であることを折に触れて伝えるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	回想を促す話題から馴染みの事物や場所等を引き出すことに努めている。家族とお墓参り、友人等との通信の機会を持って頂くなどの支援を行っている。	入居時に関係継続支援のためのファイルを作成して、家族からの情報を得たり、日頃の会話の中から馴染みの人や場との関係を把握して支援している。手紙のやり取りや電話支援を行ったり、家族の協力で行きつけの理・美容院や外出・墓参などの支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事の場や余暇の時間の共有、利用者間の会話をつなぐなど、生活を共にし触れ合う機会を持つ中で、他者を思いやるような言葉が聞かれると安心する。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後にホームを訪れるご家族とも相互に近況をお話したり、移転先にご本人の様子伺いをすることもある。退所後に死亡されたケースではお悔みに伺うことも多い。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の思いを会話等から汲みとりチームで共有すること、希望や意向を家族に確かめながら検討することに努めているが、方法の確立が難しい。	日々の生活の中で様子を観察し、言葉や表情・しぐさ等から思いや意向の把握に努めている。職員も気づきを記録し、把握した内容を情報交換しケアにつなげている。入浴時や夜勤帯のリラックスしている時に思いを聞くことがある。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時の情報を土台に、ご本人や家族から聞き取れた新しい情報を記録しようとするが、専用のファイルが活用できていない。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その日の状態を表情、行動、体調から把握し、持っている力を最大限発揮して頂くように声掛けし反応を観察する。個別の記録をチーム全員が閲覧して確認するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画作成に当っては本人、ご家族へ意向・希望を聞き取った上で、担当職員を中心に生活上の課題を検討する。必要に応じて医療・リハビリ・栄養の専門職にも意見を求め、具体的なケアや方向性を話し合っている。</p>	<p>本人や家族、主治医、その他必要な関係者の意向を確認し、担当者会議で話し合い、個々に応じた介護計画を作成している。個別支援日誌で情報を共有し、月1回、必要時は随時カンファレンスを行い、3ヶ月毎にモニタリングを実施し主治医の意見も踏まえ見直している。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の気づきからの実践と結果を記録している。介護計画の内容に対する記録にも努め、見直しに活かしたいと考えている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>法人の医療・リハビリ・栄養の専門職と連携して、GHで可能なリハビリメニューを組んだり、食事摂取内容・方法等を相談している。受診や買い物を家族に代行して行うことも多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣の歯科に往診を依頼するなど各専門病院の利用、近くの小売店へ利用者を出掛けるなど、顔馴染みの関係作りに努めている。理美容店の利用機会を増やす等、新しい関係作りも出来ればと考えている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけは法人の内科が基本であるが、他科については本人・家族に入所前のかかりつけを確認し、可能であれば継続して受診することも勧めている。</p>	<p>本人や家族の意向により、母体医療機関がかかりつけ医となっている。月2回の訪問診療や緊急時など医療連携を取りながら適切な医療を受けられるよう支援している。歯科訪問診療もある。他科受診については、家族の協力を得ながら支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常生活で見られる変化は週1回の訪問看護師訪問時に相談している。また常時、些細な変化を電話やメールで相談・報告して情報共有を図っており、適切な受診や看護につながっている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際、かかりつけ病院の場合は週一回の回診に同席して情報共有を図れる。他院の場合は、初期の情報提供のほか、職員が見舞う機会に細かな介護状況や本人の特徴などをNs.に伝えたり、MSWと情報交換の機会を持ち関係作りをしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所の際に看取りも可能であることを主に家族にはお話する。本人の希望する最期を日頃から聞ける環境作り、終末期を支える心構えが出来るような勉強会など更に取り組みねばならない。ただ、重度化で予測される状態を説明するタイミングが難しいと感じる。</p>	<p>入所時に、重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。指針・マニュアルがあり、状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医や看護師を含む関係者が連携している。職員全員が関連の勉強会や講習会に参加している。看取りの事例がある。家族会でのアンケートも実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対処法はマニュアルで確認できるが、実際に初期対応できるかは不安がある。第1の連絡先をチームで確認すると同時に、訓練を重ねて備えたい。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年4回避難訓練を行い、夜間でも利用者が避難できるよう、全職員に訓練体験をさせている。また地域住民も訓練に参加するなど、相互の協力体制を確保している。</p>	<p>年2回消防署の協力のもと、昼夜間想定避難訓練を実施し、自主訓練を2回、地域住民の参加で炊き出し訓練を実施している。風水害・火災・地震それぞれのマニュアルも作成されている。スプリンクラーや非常通報装置・防災設備もある。地域住民との協力体制もできている。非常用の備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>人生の先輩として接することを、言葉かけやプライバシーに配慮した会話、排泄対応の場面などで意識し、それぞれの人格を尊重できるよう取り組んでいる。</p>	<p>利用者の人格を尊重する言葉かけや対応に留意している。特に入浴やトイレ誘導などでは羞恥心に十分配慮して利用者のプライドを損なわない対応を行っている。研修会を行って、職員の資質向上に取り組んでいる。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>誕生日の過ごし方や普段食べたい物、余暇時間の過ごし方等を訊ねて希望に沿うよう考える。日常的な物事においても、自己決定を促す声掛けを工夫する。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の気持ちに共感し、また言葉に出せない方はその日の状態や体調から判断して支援している。外出を希望する場合は、すぐに対応することが難しい場合もある。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>着る物を自分で選んでもらう、男性では髭剃りを声掛けする等し、自力で身だしなみを整えられない方には家族が用意した衣類等を用いて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の皮むき、根切りなどを中心に、できる方には調理参加や盛り付けなど、準備に入っていた。職員も同じ食卓を囲み、可能な方は下膳をしたり台拭きやお盆拭きの役割分担をしている。	毎月栄養士のアドバイスを受けて行事食や季節の材料を取り入れ献立を作っている。利用者の力量に応じて準備や皮むき・後片づけを職員と一緒にやり、食事と一緒に食べている。誕生会や行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分量は記録し、日々の状態に応じて食事形態を変えたり水分量が確保できるように好みの物を提供するなど工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来るところはして頂き、出来ない部分は介助して毎食後の口腔ケアを実践しているが、習慣化していない方に対しては徐々にしていけるよう働きかけている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	それぞれのパターンを考え、時間やタイミングをみて排泄の声掛け、トイレへの誘導を行っている。オムツから下着へ変えて自立に向けて取り組むケースもある。	一人ひとりの排泄チェック表から排泄パターンを把握し、声かけや誘導でトイレでの排泄を大切にしている。オムツを減らす取り組みや排泄の自立支援に向けたケアが実践されている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の多い食材や乳酸菌飲料を取り入れる、体操や散歩など運動も心がけているが、更に機会を増やして取り組みたい。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入る順番の希望を聞くほか、要望がある場合はいつでも入浴出来るようにしている。体調や気分に応じて無理なく入浴できるように支援している。	入浴は、希望に添った入浴ができるように支援している。入浴を拒む利用者には職員間で連携し、清拭をしたり、声かけなどを工夫したり、状況改善に努めている。足浴や手浴は随時実施している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温湿度計を見て室内環境を整え、ひとり一人、その日その日の生活リズムを考慮しながら、必要な休息を取れるように支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容理解に努め、副作用の観察にも気を配っている。疑問点は薬剤師に確認できる。また、漏れのないように服薬チェック表を使用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>書道展に応募したり、園芸活動の中で育て方を教えていただいたりする。音楽療法では思い思いに参加できるような内容を組み立てている。ショッピング等の機会を増やしたい。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>日光浴、散歩等、短い時間でも屋外で息抜きをする時間の必要性を感じている。ご家族にもはたらきかけてご本人が望む場所への外出が可能になるよう、バリアフリーや移動手段の情報支援もしていきたい。</p>	<p>日常的には近隣の散歩や庭のベンチで日光浴・回覧板を職員と一緒に届けるなど、戸外に出かけるよう支援している。年間計画を立ててソーメン流しや外食に出かけている。家族の協力で外出や理・美容院、墓参にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お小遣いの預りがあり買い物に行ける事を伝えている。本人所持の意思が強い場合は家族と共に状況を把握しながら対応する。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望するときは電話をかけることができ、携帯電話を持っている方もいる。また季節の便りを呼びかけると応じる方もおられる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>掃除や換気をこまめにして悪臭を防いだり温湿度管理を行っている。植物を飾る、壁飾りを創作するなど、季節感のある空間作りに努めている。音に対してもっと意識したい。</p>	<p>ホールは天井が高く、陽射しが差し込み明るい雰囲気である。すだれが設置されており換気や採光に配慮し、空調管理がなされている。掃除が行き届いて清潔である。壁には手作りの季節感あふれる飾りつけや写真があり、暖かい雰囲気である。ゆったりしたソファで居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファがあり自分の好きな場所が定まっている。また車いすでも自ら移動できるよう配慮している。窓際で日光浴をしたり外を眺めたりするのを好む方もいる。</p>	/	/
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使用していた馴染みの家具や仏具などを置いたり、家族の写真を飾るなど本人が落ち着いて過ごせるような環境を家族に相談しながら整えるようにしている。</p>	<p>本人や家族と相談しながら、家具や仏具・写真など、本人が使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ、安心して過ごせるような工夫がなされている。マットの日光消毒や居室の清掃も行き届き、清潔感のある居室となっている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレの表示や居室の名札などで自ら場所を探したり確認できるようにしている。細かな安全性への配慮を各職員ができるように今後も意識づけしたい。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない